

伊万里市立山代中学校 教育相談だより

ほのぼの



2025. 6. 17

No.3 文責 浦崎 森戸

今年は驚くほどに梅雨入りが遅く、例年のことながら「地球環境」や「温暖化」について考えてしまいます。これからは雨の日が多くなり、室内での過ごし方を考えることが多くなるでしょう。

「雨の日の過ごし方」の代表的なものに「読書」があります。その「読書」について、ちょっとお伝えします。

子供のころに本をたくさん読んでおくと…

子供のころに本をたくさん読んでおくと、その時は分からなくても大人になってから何かと結びつくことがある。そんな経験が多いほど人生は楽になる。

『読書は私に、悲しみや喜びにつき、思い巡らす機会を与えてくれました。本の中には、さまざまな悲しみが描かれており、私が、自分以外の人々がどれほどに深くものを感じ、どれだけ多く傷ついているかを気づかされたのは、本を読むことによってでした。(中略) そして最後にもう一つ、本への感謝をこめてつけ加えます。読書は、人生の全てが、決して単純でないことを教えてくれました。私たちは、複雑さに耐えて生きていかなければならないということ。人と人との関係においても。国と国との関係においても。』

1998年、インドで開かれた国際児童図書評議会の世界大会でビデオ上映された皇后（現上皇后）美智子さまの基調講演を収録したものだ。いつの時代でも子供たちが根っこと翼を持ち、いつか平和を築く橋に育ってくれれば。上皇后となってからも、子供たちを見守り続けるのだろう。

ライフネット生命創業者、出口治明（でぐち・はるあき）

著書「教養は児童書で学べ」より

今年も各学年で、読み聞かせを行っていただいています。

毎回生徒達のために本を選び、読んでいただき有り難い限りです。

絵本の中には、「なるほど～」と思わせるものもたくさんあります。

読書は「心の栄養」とも言われます。

雨の日の過ごし方・・・心の栄養補給、してみませんか？



☆ 7月のスクールカウンセラー来校日

7月8日（火）

7月の浦崎先生の来校予定日は、上記のとおりです。

ご希望のある方は、事前に学年担任に連絡をされるか、下記の教育相談担当（野口）まで連絡いただければ、

時間を調整いたします。

☎ 山代中学校 28-2026

裏面には保護者の皆様へホッとメッセージです。

最近子どもに関することで考えさせられるニュースが多いように感じます。

こんな新聞記事が目に残りました。

一筆啓上賞「日本一短い手紙」に以前、福岡の小学４年生の入選作があった。

く ぼくが生まれて十年だから、お母さんも十才ですね。まだまだいっしょにがんばろうね。>

近ごろ「子育て」という言葉を聞かない日はないが、育てられるのは子ばかりではない、とつくづく
教えられる

◆いつか東京の人混みで、大声で幼いわが子を叱る母親を見かけたことがある。羽田で飛行機が見た
い、とせがんだ子に「理由をちゃんと説明しなさい」と厳しく問い詰めている。まだ小学校にも上が
らない年頃で、泣く以外に言い訳は持っていないというのに。このお母さんの職場か何かの光景を見
ているようで切なくなった

◆親の体罰を禁じた児童虐待防止法などの改正案が成立した。「しつけ」と称した激しい暴力で子どもが
命を落とす、痛ましい事件はもうたくさんである。親がこらしめ制裁することを認めた民法の「懲戒
権」も見直しを検討するという。これからの親子関係は大きく変わっていくかもしれない

◆こんな歌がある。

く 子の目から大粒のなみだを搾りだしいつまでわたしは怒鳴っているのだ > 森尻理恵

子を叱って、感情的になることは誰にもある。それでも手を上げず、心理的に追い詰めず、子どもを
しっかり育てていく手立てを探したい

◆く まだまだいっしょにがんばろうね > である

2019. 6. 20 佐賀新聞 有明抄より

学校で生徒達がきて色々な話をしてくれます。 たわいもない話ですが、笑顔で話をしている生徒を
みるとこちらまで嬉しくなります。

エネルギーをもらう時間でもあります。小言も言いますが、生徒とのやり取りを楽しく感じる瞬間もあ
ります。話をしながら、子ども達との距離感がとても心地よく、そう感じることを嬉しく思います。

お家の方も同じではないでしょうか？

子育ては大変なことも多いですが、子ども達の笑顔が励みになることもあります。

そんな子どもたちに、接して感じたことを、ゆっくりお話しできるといいですね。



7月に二者面談、三者面談が予定されています。

ご家庭での子供たちの様子、聴かせていただくと
嬉しいです。

「子育て」が「孤育て」にならないよう、
みんなで育てていきましょう！